

研修の概要

(1) 研修の目的

持続的かつ効果的な開発教育・国際理解教育（「当該教育」という。）を実践する中核的な指導者を育成すること、指導者間の連携強化およびネットワーク形成を行うことを目的とします。

【研修テーマ】SDGsを主題とした持続可能な社会づくりとアクティブラーニングを学ぶ

(2) 研修の日程および内容 ※ 諸事情により変更になる場合があります。予めご了承ください。

下表の4回の研修および実践報告フォーラムを通して、受講者自らが、当該教育の学び方を学び、当該教育の目的、扱う内容、参加型手法についての理解を深めると共に、実践者としてのスキルアップを図ります。

回	日時	内容（予定）
第1回	6月21日（土）13：00～17：00 6月22日（日）10：00～15：00	当該教育の目的・内容・進め方を体験的に学ぶ 私たちの社会の現状課題を確認し、未来への希望を語り合う
第2回	7月19日（土）13：00～17：00 7月20日（日）10：00～15：00	テーマについて学ぶ、テーマのために学ぶー 流れのある参加型プログラムを体験する
第3回	8月23日（土）13：00～17：00 8月24日（日）10：00～17：00	気づきを行動につなぐ参加型デザイナー実践に向けて学ぶ 多様な切り口からの学習者主体のプログラムを作る
9月～2月：各自、学校の授業などで実践！ 11月15日（土）、1月17日（土）13：00～17：00 実践のフォローアップ会（自由参加）、フォーラムでのワークショップ提供チームの検討会（有志）		
第4回	2月21日（土）10：00～18：00	当該教育の可能性ー学びの好循環を作るー 実践の成果と課題の共有（教師海外研修受講者を含む）
実践報告フォーラム	2月22日（日）10：00～17：30	実践の報告、実践体験ワークショップの提供（有志） 実践者つながり交流会

研修で学ぶこと 得られること

- ① 国際理解教育と開発教育の関係や、SDGsとの関連、当該教育の理論や方法論
- ② SDGsを理解するための参加型プログラムの体験によるその効果の実感と実践意欲の高まり
- ③ 学習者の気づきから行動へとつながる“ねらい”を実現するプログラムづくりの考え方と手法
- ④ 教育ファシリテーターの4つの役割と学習者に対する問う力を持ったファシリテーション力
- ⑤ 『為すことで学ぶ！』研修での学びを各現場で実践する契機を提供と、実践後の共有・向上
- ⑥ 教育に対して同じ志を持った仲間との出会い、相互の学び合いの関係やネットワーク

(3) 研修の場所 JICA 中部 なごや地球ひろば2階セミナールーム

愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60-7 TEL 052-533-0220（代表）

(4) 研修のファシリテーター

（特活）NIED・国際理解教育センター 代表 伊沢令子



ERIC 国際理解教育センターでの研修を経て、1998年に名古屋でNIED・国際理解教育センターを設立。現在は、自治体、教育委員会、国際関係団体、大学・学校、NPO/NGOなどの依頼により、年間100回以上の参加型ワークショップを実施している。当該研修は10年以上ファシリテーターを務めている。

- ◇ NPO法人NIED・国際理解教育センター 代表理事
- ◇ オルタナティブ・スクールあいち惟の森 テーマ・スキル学習コーディネーター
- ◇ 中京大学「国際理解教育論」、愛知学院大学「ファシリテーション」非常勤講師



※ 過去の開発教育指導者研修、実践報告フォーラムの内容はJICA中部ウェブサイトです。

JICA中部 開発教育 検索



昨年度の受講者の声

国際理解教育と聞くと、世界のことだとずっと思っていたが、世界のことを考えていくためには、まず、わたし・あなた・みんなについて知り、大切にすることがスタートだということがわかった。

[20代・小学校教員]

3つのことを学んだ。①願う世界のために自分が動くことの重要性。②世界の現実、真実を知り、自身の知識を深められた。③自分の進むべき道が明確になった。

[30代・小学校教員]

自分の日頃やっている授業も少しの工夫で子どもたちへの学びが深まる。

[40代・小学校教員]

こんなにも熱意のある先生たちが多くいることの驚きと感動。自分だけじゃないからこそ、多くの人たちから学びを深めていきたい。

[20代・中学校職員]

答えは学習者が持っているということを知りました。授業でも子どもたちが答えを求めて考える姿を作り出せるよう努力したい。

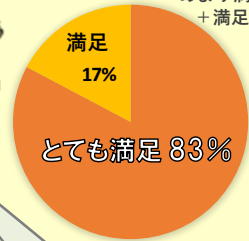
[20代・小学校教員]

内容を学びながらスキルも高められる研修。教育現場でもっと実践しようと思った。仲間がいるのは心強い。

[30代・高校教員]

研修の満足度

ある程度満足 0% あまり満足できず + 満足できず 0%



教員でいることが苦しくなくなった

[40代・中学校教員]

募集要項

(1) 対象

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教師、教育委員会の指導主事、地域国際化協会職員、NGO/NPOスタッフ、JICA 海外協力隊経験者などで、開発教育・国際理解教育を実践する場があり現在実践されている方

(2) 参加条件

- ① 原則、全研修日程に参加可能な方。
- ② 所属校や地域において実践を行い、実践報告シート (A4 版 1 枚) を 2026 年 1 月末までに提出すること、実践報告フォーラムで発表すること、報告書冊子や JICA ウェブサイト等で学校名、氏名とともに公開されることに同意できる方
- ③ 本研修に関わる連絡・情報共有のため、E メールアドレスでの連絡が可能な方

(3) 定員 30 人程度 ※ 過去の研修を受講された方のご応募も可能です！

(4) 参加費 無料 (交通費は各自で負担。遠方の方は宿泊料の JICA 負担あり (JICA 規定に基づき可否を決定))

(5) 応募方法、選考など [留意事項] 申込受領や選考結果について連絡がない場合は事務局にお問合せください。

- ① 申込様式に必要な事項をご記入のうえ、原則 E メールにて、下記事務局にお送りください。
※ E メールにて応募書類を受領した旨の連絡をします。
※ JICA ウェブサイトにある申込書様式 (Word) も使用できます。
- ② 申込書に記入する「E メールアドレス」は 2~3 日以内に確認ができるものをご記入ください。
- ③ 申込締切は、5月29日(木) 24:00 (事務局必着)です。
- ④ 応募書類に基づき選考を行います。選考結果は 6 月 6 日 (金) までに事務局より連絡いたします。

応募・問合せ先

申込書は必ず下記事務局へお送りください。

申込様式は JICA ウェブサイト <https://www.jica.go.jp/chubu/enterprise/kaihatsu/shidousha/> からダウンロード可。

[開発教育指導者研修 (実践編) 事務局]

★特定非営利活動法人 N I E D ・国際理解教育センター JICA 研修係 (担当: 川合)

〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町二丁目 3 番地 YWCA ビル 7 階

E-mail : nied@love-hug.net (応募・問合せは、原則 E メールでお願いします)

TEL : 070-5333-5566 FAX : 052-766-6440